

Strokes

KGAトピックス

台風15号の惨状下 静岡のゴルフ場では……

9月21日、紀伊半島を暴風域に巻き込んで、午後2時に静岡県浜松市付近に上陸した台風15号は、東日本に上陸した台風としては、戦後最大級だった。本州各地に人命被害や土砂災害をおよぼ



関東ミッドアマ開催が5日後に迫った、紫CCすみれコース(千葉県)の奮闘ぶり。

し、関東のゴルフ場も例外ではなかった。

台風15号に直撃された、静岡県下のゴルフ場支配人の話。

「その翌日は休場としたのですが、お客様の要望が強く、スタートを1時間遅らせて通常営業。コース内は目を覆いたくなる惨状で、カート道路をふさぐ倒木を排除して前進する有様。スタッフ総出で、グリーンとティーを原状回復するのが精一杯でした」

それでも来場した会員の反応は、意外なものだった。

「プレーに迷惑がかかると昼食は無料でしたが、奮闘するスタッフに、私たちが食事をおごりたいと思いましたよ」



高齢者、年少者、各競技で 元気はつらつ

関東ミッドアマ決勝競技に出場の中原正人君(右)

は、40歳からゴルフを始め、努力して相模原GC、大相模CCの倶楽部選手権を獲得。団塊世代(63歳)にしてこの若さは、あっぱれ!

シニアルキー(55歳)として関東シニア決勝競技に出場



若い時は年間250ラウンドとか。アプローチ、パターの名手。

の田中一郎君(左)は、真つ黒に日焼け。「自転車で毎日、30〜40kmの通勤を走ります。ロードレースは200kmですから、その練習を兼ねて」

山口八重子さんは関東女子



毎日ゴルフ。もちろん乗用カートは使わず歩きのラウンド。



ミッド決勝競技に、最高齢の72歳で出場した。

「普段の生活そのものが、ゴルフのためにあります。週に1〜3回はラウンド、週2回は練習場。毎日のトレーニングは、ゆつくりと10回の腕立て伏せ。重さ1kgのバーベルを使って、手首の強化も欠かしません。夕食後は30分ほどのウォーキングも日課です。ただ座骨神経痛が持病のため、マッサージや整体治療などの、体のメンテナンスに務めています。これらはすべて、長くゴルフを続けたいからです」

自然の景観に秘められた 理事長の深い見識

開場50周年を迎える宇都宮CCは、日本情緒あふれる品格あるコース。それもそのはず、荒井祥理理事長の英断で、外来種をすべて撤去して、在来種に植え替えた。ユウカリ、ヒマラヤ杉、メタセコイアはない。



広葉樹と針葉樹が混在する、落ち着いた景観の宇都宮CC。



関東アンダーハンド キャップ競技の話題etc.

茨城GC西コースを舞台に開催された、関東アンダーハンド

デイクヤップゴルフ選手権・決勝競技は、男子



子(10月31日)女子(11月7日)とも絶好のゴルフ日和。ここを競技ゴルフ入門とす



婦唱夫随 楠澤さんご夫妻



夫唱婦随 佐藤さんご夫妻

る初参加者には、素晴らしいスタートとなったはず。

ご夫婦で決勝競技(開催日時別々だが)に出場の楠澤清君は「家内は女子倶楽部対抗

あつ! 茨城GCの池で懐かしい“人面魚”に再会。20年前はマスコミで話題今ただの鯉でした。

の選手で、ホームコース(石坂GC)ではお仲間と一緒。夫婦でラウンドするのは、旅行の時ぐらいです。私よりゴルフは上手く、これが夫婦円満の秘



マンゴージュースに『ミルク工房もりや』の、飲むヨーグルトを加えるのが茨城GCの常連流(730円)。売店の単品販売は168円。

3年前(左)も今年(右)も、ニッカボッカで出場の石川朗君。「最近新作のカタログがきます。来年も!」



訣かも(笑) 敏枝夫人は「家族でもプレーします。予選進出はJGAハンディキヤップ12・0でしたが決勝競技では9・9に。実力以上でしょう」

佐藤重博君と佳子さんご夫妻は、JGAハンディキヤップ14・9の重博君がちょっと上。佳子夫人も16・8で負けていない。こちらは夫唱婦随。

「家事は夫婦で分担し、2人でホームコース(桜ヶ丘CC)の

月イチゴルフが楽しみです。長男もラウンド仲間に入り、長期計画で着々と老後の楽しみの準備をしています(笑)」と佳子さん。

競技スタート前のNOROKE話? ごちそうさまでした。

カメラの放列

本年度KGA主催の決勝競技は予定どおり無事に終了した。各決勝競技会場には多くの報道陣。スポーツ新聞、地元新聞、そして本誌取材担当の広報委員の皆様。お疲れさまでした。

